
ある教師の雑談

光鷹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ある教師の雑談

【Nコード】

N0751B

【作者名】

光鷹

【あらすじ】

ノンフィクションのようなフィクション。これは、3分間の『雑談の時間』の物語である。

第0時間目

これから始まる話は、私が…高校の…1…いや、2年か…。とにかく、高校時代に母校にいたある教師をモデルにした物語である。その教師の名は…『良光』…確か『良光』という名前だった。

そして、この物語は3分で終わる。何故なら、この物語はこの教師の授業に3分間だけ存在した『雑談の時』の物語であるからだ。

この『雑談の時』は非常に面白い時間であった。何処が面白いかということは、実際に読んで確かめてほしい。

『それでは…今日の雑談の時間だ…』

第1時間目 『暗殺者の話』

一番最初に思い出すのが『暗殺者の話』だ。

この話は、確か、ある国で起きた無差別殺人の犯人が、実は雇われた『暗殺者』であつたというニュースが流れた日の翌日の『雑談の時間』の話だったと記憶している。

：『皆さん：やはり暗殺者は怖いですか？』：

良光は意外にも明るいい声で生徒達に問い掛けた。

「もちろんです」

「怖いです」

「恐ろしいです」生徒達から恐怖や不快を表す言葉が次々と飛び出してくる。無理も無い、『暗殺者があなたを狙っている』と言われたら外を歩くことも、夜眠ることも出来そうにない。そして、私なら暗殺者に殺される前に不安で死んでしまうであろう。

「ところが：我々は常に暗殺者に狙われているのです。」

良光は先程とは変わって、やや強い口調でそう言った。どうせ：『病気が暗殺者です。』とか言うのであろう。

「先生、その暗殺者は私達だけを狙っているのですか？」

生徒の一人がおそろおそろ聞く。まあ、『あなた達は暗殺者に狙われている』などと言われた後だ、無理も無い。

「いいえ：暗殺者は全存在を狙っています。」

おいおい、話が飛躍しすぎだろう。全存在を狙える暗殺者がいるわけが無い。しかし、ここで私の『病気が暗殺者』という説はハズレだと証明された。病気は動物や植物は狙えるが、全存在というから

には岩石などの生きていない物も入るのであろう。しかし…そうになると暗殺者の正体が尚一層謎になる。

「先生、その暗殺者は一人ですか？」

「いいえ、暗殺者は二人います。」

二人で全存在を狙うとは、凄い度胸のある暗殺者だ…。さて、そろそろ質問をするか…

「先生、その暗殺者の名前を教えてください。」

良光は一呼吸置いてから、こう答えた。

「一人目の暗殺者の名前はtime…つまり『時』です。」

なるほど、『時の流れは全てを押し流す』とはよく言ったものだ、だが、そうになると一人で十分なのでは…？

「そして、二人目がfate…つまり『運命』です。『時』は『運命』に暗殺をする時刻を伝える役目、『運命』は『時』の伝えた時刻通りに存在を消す役目を持っています。」

良光は更に一呼吸おいて話を続ける。

「もちろん、全存在を狙っているわけですから、暗殺者自身も暗殺の対象です。」

おいおい、話がおかしな方向に進んでいるぞ。

「『時』も『運命』も、それを感じる存在がいるから存在出来るのであり、感じることの出来る存在が全て消えた時…それが二人の最期なのです。」

…

「おや、3分を過ぎてしまいましたか、そろそろ授業に戻りましょうか。」

そう言うってから、良光は教卓の教科書を開いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0751b/>

ある教師の雑談

2010年10月28日06時20分発行